

総 目 次

—目で見る小児科—

臨床症状は軽微であったが特徴的な皮膚所見から診断に至った遺伝的モザイクの色素失調症の1例 ……………稗田芙蓉太ほか……………113	
ヘアカラーサインを契機に脳瘤が診断された1例 ……………西 形 優実子……………225	
反復性リンパ節炎が疑われた腋窩部副乳 ……………本山 治ほか……………331	
生後から両側外反母趾を認めた女児例 ……………青砥 悠哉ほか……………439	
多形紅斑の発症にヒトライノウイルスの関与が疑われた乳児例 ……………梅津 栄門ほか……………647	
門脈ガス血症と腸管気腫症を呈した4p欠失症候群の1歳女児 ……………本山 治ほか……………1023	
Bicipital synovial cystを呈した全身型若年性特発性関節炎の女児 ……………畠野 真帆ほか……………1119	

—綜 説—

小児に対する超音波ガイド下コア針生検の有用性 ……………小 野 貴 史……………61	
表皮水疱症治療の現状と展望……………森 志朋ほか……………72	
食道閉鎖症の胎児MRI診断……………道下由紀子ほか……………164	
新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症の予防 ——現状と予防のエビデンス構築に向けて ……………落 合 正 行……………172	
小児てんかんに対する外科治療 ……………花谷 亮典ほか……………277	
新生児ミトコンドリア病の特徴 ……………海老原知博ほか……………387	
乳幼児の大腿骨骨幹部骨折に対する治療法の選択 ……………大西 裕真ほか……………493	
小児期の夜尿症と移行期以降の排尿症状との関連 ……………里 地 葉……………601	
SGA性低身長症アップデート……………小 山 さとみ……………607	
小児喘息のスムーズな移行期医療のために ——内科からの視点……………岩 永 賢 司……………832	
母乳研究の最前線——科学の視点で母乳の 未来をとらえる……………水 野 克 己……………1039	

食物蛋白誘発胃腸症（FPIES）の臨床的知見と診療実践への 応用——最近の動向と診断基準の限界をふまえて ……………清木 香里ほか……………1157	
--	--

—診 療—

二次性夜尿症の診かた——夜尿症が“再発”した場合の 対応……………西 崎 直 人……………500	
---	--

—社会小児科学—

子どもの「社会的時差」 ——平日と休日の生活時間帯のずれにより生じる心身の 不調について……………神 山 潤……………80	
令和6年能登半島地震から令和6年奥能登豪雨までを 振り返る……………谷 口 千 尋……………176	
小児病院におけるホスピタル・ファシリティドッグの 活動……………権 守 礼 美……………286	
小児医療と行政の橋渡し——成育こどもシンクタンク等 の取り組み……………千 先 園 子……………397	
「患者の意思」について患者の視点から再考する ……………兼 児 敏 浩……………837	
市販薬の乱用防止に向けた行政の取り組み ……………平野 友唯ほか……………1047	
子どもの貧困に医療現場でどう気付くか・何ができるか ……………増 田 卓 哉……………1163	

—オピニオン—

中学生の不登校についての一考察 ……………泉 信 夫……………293	
早期小児の脳震盪——年長児の場合と照らし合わせて ……………泉 信 夫……………1074	
ビジョン・ゼロに基づく生活道路における歩行児の 交通事故死傷の防止……………泉 信 夫……………1181	

—トピックス—

自閉症診断観察検査 (ADOS-2) の支援計画策定における有用性……………青木 瑛佳ほか……………182	
急性腹症の鑑別診断としてのエルシニア感染症の臨床像……………光永 哲也ほか……………188	
小児科外来プライマリケアにおける言語発達支援——発達特性をもつ児に対する VB-MAPP 使用経験から発達特性のない児に至るまで……………小澤 武史ほか……………196	
乳児の発達心理学的考察——個性と発達……………土 屋 廣 幸……………300	
加熱式タバコ誤飲による消化管異物……………河内 遼ほか……………307	
「真空固定具」を用いた無鎮静での乳児・新生児の ABR 検査・MRI 撮影の有用性の検討……………本 田 義 信……………409	
先天性 QT 延長症候群の最新知見とエビデンス——日本における多施設登録研究から……………相 庭 武 司……………506	
就寝時の乳児窒息死事故……………泉 信 夫……………515	
5 歳児発達相談から紹介された症例の特徴と小児科クリニックでの取り組み……………齋藤 茂子ほか……………719	
当院における新生児尿サイトメガロウイルススクリーニング検査導入後の現状……………小林 正樹ほか……………995	
知的能力障害を併存しない自閉スペクトラム症 (ASD) 児の WISC-V による認知プロフィールの分析——階層的クラスター分析による ASD サブタイプの特徴……………星山 伸夫ほか……………1003	
小児科領域における ChatGPT などの生成 AI 活用——マルチモーダル生成 AI をバイオサイコソーシャル的アプローチに活用して、子どもたちにワクワクを！……………柴崎 三郎ほか……………1053	
絞扼性腸閉塞における超音波検査所見の特徴……………村重 皓斉ほか……………1062	
24 時間以内に 3 回目の熱性けいれんを起こすリスク因子の検討……………森尾 明浩ほか……………1068	
舌下免疫療法は小児のアレルギー史を変え得るか……………松 山 剛……………1172	

—経 験—

児童自立支援施設入所者への移行期医療の経験……………河上 千尋ほか……………521	
乳児における抗百日咳毒素抗体価の解釈における課題——2 症例の検討……………横山 宏司ほか……………1188	

—症 例—

BCG ワクチン接種後に滴状乾癬様皮疹を認め血清サイトカイン解析を行った 1 例……………横山 宏司ほか……………89	
循環血流量減少性ショック後に意識障害が遷延し古典的アストロウイルス 1 型脳症と診断した 14 トリソミー女児例……………平川 雄大ほか……………93	
長時間ホルター心電図で診断できた発作性上室頻拍の小児例……………長柄 俊佑ほか……………205	
尿失禁が先行した両側急性巣状細菌性腎炎……………岡元 文香ほか……………312	
ESBL 産生大腸菌による反復性尿路感染症に対しホスホマイシン予防投与を行った乳児例……………谷山 雄一ほか……………415	
有熱時けいれんを主訴に受診しけいれんを反復した水中毒の 1 例……………末永 佑佳ほか……………420	
心臓超音波検査で疣贅が見つからず白血病との鑑別に苦慮した感染性心内膜炎の 1 例……………橋 美香ほか……………527	
定期補充療法中に腸骨筋出血をきたした友友病 A の 1 例……………河上 千尋ほか……………616	
学校検尿での尿糖陽性を契機に診断した TINU 症候群の女児例……………石倉麻里奈ほか……………622	
急性腎盂腎炎に対する不十分な治療の後に急性巣状細菌性腎炎を発症し治療に難渋した 1 例……………前田 啓祐ほか……………627	
不明熱の原因が脾周囲の後腹膜に発生した炎症性偽腫瘍であった 8 歳男児例……………梅原 舞ほか……………726	
兄弟発症した髄膜炎菌性髄膜炎の 1 例……………永岡 敦喜ほか……………732	
意識障害を呈した福山型筋ジストロフィーの横紋筋融解症の 1 例……………藤本 卓也ほか……………845	
分類不能型腸炎として治療中の病初期から抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体価が上昇していた潰瘍性大腸炎の男子例……………松井 瞳ほか……………1083	
経口免疫療法中に重度の貧血を呈し 2 回目の上部消化管内視鏡検査で確定診断をした好酸球性胃腸炎の幼児例……………吉岡 由布ほか……………1091	
医療的ケア児の民間航空機搬送の 1 例……………池川 環ほか……………1098	
サルモネラ腸炎に伴う急性腎障害 (KDIGO stage 3) に利尿剤が奏効し急性血液浄化療法を回避し得た 1 例……………吉本 知史ほか……………1194	

一連載 最近の外国業績より一

循環器	日本医科大学小児科学教室	99
栄養・代謝・内分泌	ク	211
境界領域	ク	317
腎・尿路	ク	425
血液	ク	534
免疫	ク	632
感染症	ク	736
呼吸器	ク	851
アレルギー	ク	1010
神経	ク	1105
消化器	ク	1201
新生児	ク	1613

一特集一

1月号

〔小児・思春期糖尿病アップデート
——診断・治療から生活のサポートまで〕

I 総論

- 小児・思春期糖尿病の定義・分類と疫学（総論）
浦上達彦……………5

II 診断・治療と管理

- 1型糖尿病……………宇都宮秀和ほか……………10
- 劇症1型糖尿病……………三浦順之助……………19
- 2型糖尿病……………松井克之……………24
- 単一遺伝子異常による糖尿病
鈴木滋……………29

III 予防・治療にかかわるトピックス

- 脂質・血糖コントロールのポイント
高谷具純……………36
- 今後期待される新しい治療法
鈴木潤一……………41

IV 子どもの生活のサポート

- 入園・入学および園生活・学校生活のサポート
志賀健太郎……………47
- 糖尿病をもつ子どもにかかわるスティグマとケア
小川洋平……………52
- 大規模災害——平時より備えておきたいこと
藤原幾磨……………56

2月号

〔小児循環器 最近のトピックス〕

- 胎児・新生児期に診断される徐脈症例の
遺伝学的検査……………大野聖子……………116
- 胎児心疾患に対する胎児治療アップデート
……………漢伸彦……………124
- 遺伝性不整脈——先天性QT延長症候群・
Brugada症候群……………清水渉……………131
- 新しい抗心不全薬……………小野博……………142
- 小児心移植後の収縮能・拡張能評価
……………白神一博……………149
- 心疾患児におけるRSV感染症——シナジス®と
ペイフォータス®……………古野憲司……………156

3月号

〔他科の視点・診療連携の観点でみる
母斑・母斑症Ⅰ（総論・疾患別の概説）〕

総論

- 母斑症診療の包括的かつ多角的な診療に向けて
——多診療科連携と分子標的薬による治療戦略
……………武内俊樹……………227

疾患別の概説——診療連携の視点を含めて

- メラノサイト系母斑・血管腫・間葉細胞系母斑は
か……………吉田雄一……………232
- 神経線維腫症1型ほか……………生越章ほか……………238
- 結節性硬化症……………岡西徹……………246
- Sturge-Weber症候群……………城所博之……………262
- オスラー病……………秋山武紀……………268

4月号

〔他科の視点・診療連携の観点でみる
母斑・母斑症Ⅱ

〈診療科ごとに関わりの深い母斑症の診療ポイント〉〕

- 小児の母斑症の診療における小児科の役割
……………松尾宗明……………333
- 耳鼻科の視点（聴神経腫瘍・難聴など）
……………松永達雄……………339
- 整形外科の視点（側弯・軟部悪性腫瘍など）
……………川島寛之ほか……………347
- 皮膚科の視点（皮膚病変からの診断・分子標的薬な
ど）……………吉田雄一……………356
- 形成外科の視点（レーザー治療を中心に）
……………野口昌彦ほか……………363

6. 脳神経外科の視点（母斑病に生じる中枢神経病変）
宇佐美 憲 一.....371
7. 泌尿器科の視点（腎血管・腫瘍病変）
浅沼 宏ほか.....378

5月号

〔学校心臓検診で見つける・見つかる 不整脈・心疾患〕

1. 学校心臓検診の意義.....鮎 澤 衛.....441
2. 心房中隔欠損症.....鍵山 慶之ほか.....452
3. 心室中隔欠損.....富 田 英.....460
4. 心室期外収縮.....宮 崎 文.....464
5. 房室ブロック.....泉 田 直 己.....470
6. QT 延長症候群.....清 水 渉.....475
7. WPW 症候群（Wolf-Parkinson-White syndrome）
豊 原 啓 子.....487

6月号

〔大災害と子どもたち——Excluded and Invisible I〕

災害とアドボカシー

1. Excluded and Invisible——声なき者の声として
島 袋 梢.....547

過去の大災害と子どもたち

2. 〈1995 年〉阪神・淡路大震災
小井土 雄 一.....555
3. 〈2011 年〉東日本大震災
細 矢 光 亮.....560
4. 〈2016 年〉熊本地震.....松本 志郎ほか.....565
5. 〈2024 年〉能登半島地震
和 田 泰 三.....571

災害対応のインフラストラクチャ

6. 災害派遣医療チーム（DMAT）と
 災害医療コーディネーター
立 石 順 久.....576
7. 広域災害救急医療情報システム（EMIS）
田 坂 勇 太.....581
8. 災害時小児周産期リエゾン
井 田 孔 明.....586
9. 大規模災害対策情報システム（PEACE）
西ヶ谷順子ほか.....590
10. 災害時感染制御支援チーム（DICT）
石和田 稔 彦.....595

7月号

〔大災害と子どもたち——Excluded and Invisible II〕

災害対応の基本原則

1. CSCATTT（CSCA：情報管理）
伊 藤 友 弥.....649
2. CSCATTT（TTT：トリアージと搬送）
塚 原 紘 平.....654
3. 災害時の心のケア（被災者）
福 地 成.....661
4. 災害時の心のケア（支援者）
岬 美 穂.....665

小児災害医療における特殊な対応

5. 災害時の子ども中心の心理社会的支援
赤 坂 美 幸.....668
6. 避難所で必要とされる母子保健対策
吉 田 穂 波.....673
7. 神経発達症（発達障害）等に対する医療支援
木 村 重 美.....681
8. 食物アレルギーに対する医療支援
緒 方 美 佳.....687
9. 特殊ミルク・代謝疾患に対する医療支援
 ——「あの子のミルクがない」から始まる二次災害
濱 崎 考 史.....694
10. 外国にルーツをもつ子どもに対する災害時支援
中 村 安 秀.....700

今後の課題

11. 大災害と子どもたち
 ——いまだに見えない課題
今 井 一 徳.....706
12. 災害時小児周産期リエゾンの
 新たな支援体制.....海野 信也ほか.....711

8月号

〔小児科医が診る泌尿器疾患アップデート
 ——どう診断・治療するか？ 予後はどうか？〕

1. 包茎.....本 間 澄 恵.....751
2. 夜尿症に対するアプローチ
守屋 仁彦ほか.....756
3. 尿失禁のマネジメント.....武田詩奈子ほか.....765
4. 尿道下裂・陰茎弯曲——診断・治療における
 小児科医の役割.....澁谷 聡一ほか.....771
5. 停留精巣.....杉多 良文ほか.....779
6. 精巣水腫・精索水腫.....此 元 竜 雄.....786
7. 精索静脈瘤.....兼松 明弘ほか.....792

8. 尿路結石症	安藤 太郎ほか	800
9. 二分脊椎・神経因性膀胱	市 野 みどり	808
10. 急性陰囊症	浅沼 宏ほか	815
11. 尿路感染症	金 子 一 成	824

9月増大号

〔あらためて見直す Down 症候群——適切な管理とサポートでよりよい成人期につなげる〕

総論

1. Down 症候群とは——発症メカニズム・診断・予後など	川 谷 圭 司	864
2. Down 症候群の子どもの成長発達	玉 井 浩	870

よくある合併症・念頭におくべき合併症とその管理・予防

3. 循環器（先天性心疾患）	前 田 潤	879
4. 消化器	高 橋 翼	885
5. 血液・造血器	長谷川 大 輔	889
6. 代謝・内分泌	伊達木 澄 人	896
7. 泌尿器	野口 満ほか	900
8. 神経	平田 佑子ほか	907
9. 整形・骨格系	大 庭 真 俊	916
10. 眼	後 藤 美和子	926
11. 耳・鼻・のど	小宅功一郎ほか	932
12. 歯と口の特徴と歯科的管理	小方 清和ほか	938

発達と生活のサポート

——小児科医ができること・知っておきたいこと

13. 言語・コミュニケーション発達の特徴と支援	竹 下 盛	946
14. 運動発達支援の実際	山 本 良 彦	953
15. 食事と栄養の支援	西 本 裕紀子	960
16. 移行期の支援	松 尾 真 理	968
17. ライフステージで考える きょうだいも含めた家族への支援	荒 川 明 里	978
18. 成人期の診療・支援	竹 内 千 仙	988

10月号

〔小児感染症関連の症例報告〕

1. COVID-19 の不安から保護者の判断で使用したイベルメクチンが関連した意識障害	横山 宏司ほか	1025
2. 生後4か月の超低出生体重児に生じた胸腔鏡下膿瘍掻爬術を要したメチシリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)		

による膿胸の1例	高田 尚志ほか	1029
3. マイコプラズマ感染症罹患時に肝機能障害を認めた兄妹例	井階 正惇ほか	1034

11月号

〔小児の特発性以外の肺高血圧〕

1. 小児の特発性以外の肺高血圧（総論）	高 月 晋 一	1121
2. 薬物による肺高血圧	中 山 智 孝	1126
3. 肺疾患による肺高血圧	中 西 秀 彦	1132
4. 先天性心疾患による肺高血圧	石井 卓ほか	1138
5. 門脈疾患に伴う肺高血圧症	小 垣 滋 豊	1144
6. 高地での肺高血圧	中 西 敏 雄	1150

12月臨時増刊号

〔小児診療ガイドラインの

ダイジェスト解説&プログ्रेस 2025〕

1. 気管支喘息	滝 沢 琢 己	1216
2. 食物アレルギー	藤 澤 隆 夫	1223
3. アトピー性皮膚炎	二 村 昌 樹	1232
4. アレルギー性鼻炎	大久保 公 裕	1240
5. RS ウイルス呼吸器感染症	吉 原 重 美	1251
6. ヘリコバクター・ピロリ感染症	加 藤 晴 一	1256
7. 先天性サイトメガロウイルス感染症	伊 藤 嘉 規	1264
8. 敗血症	志 馬 伸 朗	1271
9. 肺炎	石和田 稔 彦	1278
10. 咳嗽	宮本 学ほか	1284
11. てんかん重積状態・けいれん重積状態	菊 池 健二郎	1295
12. 熱性けいれん（熱性発作）	夏 目 淳	1301
13. てんかん	望 月 仁 志	1307
14. 急性脳症	小 俣 卓	1314
15. 痙縮・ジストニア	根 津 敦 夫	1320
16. チック症	石 井 隆 大	1326
17. 機能性消化管疾患	奥 見 裕 邦	1333
18. くり返す頭痛	永 井 章	1346
19. 摂食障害	藤 井 智香子	1352
20. 不登校	柳 本 嘉 時	1358
21. 小児起立性調節障害	吉 田 誠 司	1366

22. 若年性特発性関節炎 少関節炎型・多関節炎型	宮 前 多佳子	1374
23. 若年性皮膚筋炎	秋 岡 親 司	1381
24. シェーグレン病（シェーグレン症候群）	井 上 祐三朗	1388
25. 免疫性血小板減少症	石 黒 精	1395
26. バセドウ病	南 谷 幹 史	1403
27. 性分化疾患	石 井 智 弘	1411
28. 糖尿病	浦 上 達 彦	1418
29. 副腎白質ジストロフィー	下 澤 伸 行	1426
30. 先天性心疾患・小児期心疾患	安河内 聰	1432
31. 川崎病急性期	三 浦 大	1438
32. 小児急性胃腸炎	鶴 知 光	1446
33. 消化管感染症	津 川 毅	1454
34. 腸重積症	平 田 倫 生	1459
35. Wilson 病	児 玉 浩 子	1464
36. IgA 腎症	島 友 子	1471
37. 特発性ネフローゼ症候群	菊 永 佳 織	1478
38. 夜尿症	内 藤 泰 行	1486
39. 急性中耳炎	林 達 哉	1493
40. 尋常性痤瘡	林 伸 和	1501
41. 蕁麻疹	森 桶 聡	1507
42. 子ども虐待	井 上 信 明	1514

12月号

〔一括アップデート！〕

各領域の3大ニュース・トピックス 2025

1. 神経	加 藤 光 広	1532
2. 血液・がん	加 藤 元 博	1538
3. アレルギー	大 嶋 勇 成	1543
4. 腎	中 西 浩 一	1546
5. 泌尿器	杉多 良文ほか	1550
6. 内分泌	長谷川 奉 延	1554
7. 感染症	森 内 浩 幸	1558
8. 呼吸器	石和田 稔 彦	1562
9. 消化器・栄養	工藤 孝広ほか	1567
10. 子どものこころ	村上佳津美ほか	1572
11. 膠原病・リウマチ	宮 前 多佳子	1577
12. 眼	東 範 行	1583
13. 耳・鼻・のど	伊 藤 真 人	1586
14. 歯	平 井 研 吾	1590
15. 国際保健	高 橋 謙 造	1594
16. 整形外科	藤本 陽ほか	1598
17. 外科	小 野 滋	1604
18. 脳神経外科	磯崎 春菜ほか	1608

